

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ  
～2020年3月19日(木) 17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

(ご参考) 州別の感染者数等の情報→<https://infogram.com/tabela-coronavirus-brasil-lhkv2negn57o2x3>

## 1 サンパウロ州

(1) 3月19日12時半より、ドリア州知事は記者会見を開いたところ、要点は以下の通り。

- 教会や寺院等の宗教施設は、23日(月)から60日間、ミサや礼拝等人の集まる活動は行わないよう推奨。
- 空港、港湾、道路等の交通手段については中断せず、維持すべき(閉鎖してしまうと病院・医療・薬局関係者等、必要な人の交通手段も断たれてしまうため)。交通システムは通常通りとすべき。
- アルコールジェルは小売店による不当利益を回避するため、23日(月)以降は販売の際のマージンをゼロとすることでスーパーマーケット業界代表者と合意し、PROCOM(消費者保護団体)も状況をフォローする。今後、薬局業界とも同様の合意に向け、話し合いを行う予定。
- アルコール製造販売大手の「Coperalcool」社が軍警、民警、消防団等の治安機関に5万個のアルコールジェルを寄付することを決定。
- 州は50社(スーパーマーケット、薬局、デリバリー会社等)の企業関係者を集めた委員会(ワーキング・グループ)を設置(本月初めて会議を開催し、今後定期的に月曜と水曜に会議を開催する由)。
- 州内の感染者数は240人(感染疑いは5,334人)、うち16名が重体。死者数は4人。60歳以上の人、慢性疾患を抱えている人は外出せず、自宅待機するように強く推奨。
- 低所得者層は3か月間(4月～6月)、水道料金の支払いを無料。
- 州立学校の教員15万人及びパウラ・ソウザ財団の教員1万5千人は23日(月)から休暇を取得。
- 債務者に対する州の取り立て(divida ativa)は90日間中止。

(2) サンパウロ州ABC地区は、3月29日より市内バスの運行を無期限で中断予定。

## 2 マット・グロッソ州

(1) 3月18日、メンデス州知事は記者会見(オンライン形式)を開いたところ、要点は以下の通り。

- 州政府は、伯保健省の方針を基に対策を検討中。毎日、州内の感染状況等につき州保健局のサイト(<http://www.saude.mt.gov.br/informe/584>)で情報を発信。18日現在で感染疑いは25人。
- 州政府管轄の会議は全てテレビ会議で実施。州政府各局の対応時間の短縮または停止を許可。
- 州内の刑務所における面会は15日間制限。
- 州内の地方病院で急を要さない手術は中止。公立・私立病院の入院患者との付添いは1人に制限。
- 州内の市間を結ぶバス等の運行中止をコンセッショネアに許可。
- 50人以上が屋内に、100人以上が野外に集まる民間のイベント(フェイラ、スポーツジム、映画館、クラブ、ミサ、バー、ナイトクラブ等)は中止を推奨。

## 3 マット・グロッソ・ド・スル州

(1) 3月18日、州政府HPは以下情報を掲載したところ、要点は以下の通り。

- 州保健局はフェイクニュース対策として、新型コロナウイルスにかかる正しい情報を掲載した専用サイト([www.coronavirus.ms.gov.br](http://www.coronavirus.ms.gov.br))を開設、情報を毎日更新。
- アザンブジャ州知事、5千個のウイルス検査キット購入を承認。

(2) 3月19日、州政府HPは以下情報を掲載したところ、要点は以下の通り。

- 3月5日、マット・グロッソ・ド・スル地域病院(HRMS)が新型コロナウイルス対策の指定病院に。3月23日より開設する2つ目の救急外来(PAM2)の重症患者の対応スペースには8台の呼吸器を設置。病院側は今回の設備で800人までの患者受け入れが可能と説明。また、院内にて同時に滞在させる患者の人数を通常の200人から80～100人に制限。面会時間の縮小及び腫瘍系、緊急のものを除く手術を延期。(了)